タレブ『まぐれ』の要約

寺尾　敦

# 第５章　不適者生存の法則

カルロスとジョンという２人のトレーダーの浮沈を通して，何かの分野での成功者は，特定のサンプル経路に過適応したタイプ（種）の一個体にすぎない可能性が高いということを述べている．

任意の時点において一番成功しているトレーダーは，その時の市場の状況に最も適応した人たちであることが多い．カルロスとジョンはこういう人である．この適応は局所的な適応である．もっと長い期間では，この人たちが市場に最適であるとは限らない．むしろ，局所的な適応は，そのときの偶然的状況への過剰な適応である可能性が高い．

ある時点で支配的な種は最も優れているからこそ進化の過程で選ばれたのだという信念を素朴ダーウィン主義という．これは誤った信念であり，局所的な最適さと大域的な最適さを混同している．局所的な適応によって生存している種は，稀な事象が起きないままの期間が長いほど，稀な事象に弱くなる．十分に長期間では稀な事象は必ず生起し，その種は全滅する．